

1. 日時 平成 25 年 10 月 1 日(火) 14:00-15:30
2. 場所 東京トラック事業健保会館 4 階第一会議室
3. 出席・欠席者 (敬称略) :

○出席

森本 (編修長、東海大学)、寺田 (副編修長、徳島大学)、綾野 (D1 主査、東京高専)、岩崎 (D2 主査、名古屋工業大学)、野口 (D3 主査、静岡大学)、叶田 (D4 主査、日立製作所)、近藤 (D5 主査、千葉大学)、浜松 (D4、D5 副主査、日本大学)、中沢 (D1 副主査、東芝、記録)

×欠席

高橋 (D2 副主査、香川大学)、樋口 (D3 副主査、長崎大学)、姉崎 (ゲストエディタ、沖縄工業高専)、小田 (ゲストエディタ、千歳科学技術大学)、佐藤 (ゲストエディタ、千葉大学)、柴田 (ゲストエディタ、成蹊大学)

4. 提出資料

H25-3-0	平成 25 年度第 3 回 D 部門主査会議事 (寺田)
H25-3-1	第 2 回産業応用部門論文委員会主査会議 議事録 (案) (中沢)
H25-3-2	電子査読システムの運用状況 (日本語論文誌) (寺田)
H25-3-3-1, 2	特集号の論文処理状況 (寺田)
H25-3-3-3	特集号の論文募集、特集論文起案書 (寺田)

5. 議事

5.1 前回議事録の確認

前回議事録 (資料 H25-3-1) について、承認された。

5.2 電子査読システム運用状況

資料 H25-3-2 に基づき、電子査読システム運用状況の報告があった。和文論文誌の投稿件数が減少している件に関し、英文論文誌に移行しているからではないかという議論があったのに対して、参考資料にて和文論文誌と英文論文誌の月別受付数の推移の説明があった。和文と英文の合計数が減少傾向にあり、和文論文誌受付数減少は、英文論文誌に移行したことだけに起因したものではないとの分析結果が報告された。論文数全体の増加に協力を求めていく必要がある。

D1 は研究開発レターの件数が少なくなっているようであるが、何か要因があるのかとの質問があった。

旧システムは、残り D2 の 1 件のみになった。現状 B 判定でのやり取りが継続している。

5.3 特集号状況確認

資料 H25-3-3-1 に基づき、特集号「半導体電力変換研究会」に関する論文査読状況説明があった。9 件掲載処理になっており、特集号構成できる見込み。掲載処理になった論文はいずれも査読評価が高かった。

今回の半導体電力変換研究会の特集号は、英文論文誌への移行の可能性があるかとの質問があった。まだその議論はしていない旨回答があった。

資料 H25-3-3-2 に基づき、特集号「産業計測自動制御、メカトロニクス制御」に関する論文査読状況説明があった。掲載処理となった論文はまだ3件しかなく進捗が芳しくない。今後どのように挽回していくのか心配であるとのコメントがあった。

議論の結果、従来は、ゲストエディタは論文主査会に出席して、状況と今後の方針（特に進捗が芳しくない場合は、その対策方針）を報告し議論してきたが、それができていない状況が発生しているので、今後、ゲストエディタの確実出席と進捗説明を徹底することとした。

技術委員会毎の特集号掲載件数の傾向を確認したい、特集号成立の最低件数についても確認したいとの議論があり、技術委員会毎の特集号掲載件数一覧を、寺田副編修長が調べて、次回主査会で報告することとなった。

5.4 特集号の論文募集について

資料 H25-3-3-3 に基づき、「J-RAIL2013」特集起案書について審議依頼があった。J-RAIL は土木学会、機械学会との連合開催である旨説明があり、それに対して著作権の取り扱いがどうなっているかとの質問があった。著作権の取り扱いについて明確になっていない旨回答があり、審議の結果、電気学会が主催の時の著作権処理について明確化して、明確になった時点で、再度承認審議することとし、今回の審議依頼は差し戻しとなった。

承認となった際の、発刊までのスケジュールは事務局と個別相談とする。

5.5 論文委員の推薦について

資料 H25-3-4 に基づき、3名の推薦候補者について審議した。審議の結果、特に問題なく、論文委員として推薦承認することとなった。

5.6 D 部門役員会報告

資料 H25-3-5 に基づき、平成 25 年度第一回産業応用部門役員会の議事内容が報告された。

5.6 その他

8月に開催された論文委員意見交換会にて意見が出された、査読委員に対する褒賞について審議を行った。審議の結果、ニュースレターに査読していただいた方の一覧を掲載して紹介する方針で検討することとなった。名前のみにするか、所属まで含めるか議論があり、ニュースレターのページ数に大きく関係してくるので、査読者の延べ人数を調査確認してから再度議論することとなった。査読者の延べ人数を森本編修長から電気学会事務局に問合せすることとなった。

5.12 次回開催日

2013年12月3日（火）13:30-15:00

（偶数月の第一火曜日を基本とする。）